

令和5年2月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	令和5年2月14日（火） 午後4時00分～午後5時00分
場 所	Web会議
出席者	<p>【議 長】 藤崎浩太郎議員</p> <p>【議員：6名】 田中ゆき議員、山下正人議員、横山正人議員、行田朝仁議員、平田いくよ議員、小島健一議員</p> <p>【説明局員：29名】（うち、青葉区：24名）</p> <p>天下谷区長、吉田副区長、青木福祉保健センター長、壺井福祉保健センター担当部長、鈴木土木事務所長、黒岩消防署長、ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>1 青葉区北西部における連節バス導入を通じた取組について (道路局企画課 資料1)</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症に係る青葉区の状況について (福祉保健課 資料2)</p> <p>3 その他（用途地域等の見直し都市計画市素案（案）に関する意見書の受付等の結果について）</p> <p>その他</p> <p>1 青葉警察署管内の情勢について (青葉警察署 資料3)</p> <p>2 青葉区火災・救急状況（令和5年2月1日現在） (青葉消防署 資料4)</p>
報告事項1	青葉区北西部における連節バス導入を通じた取組について
発 言 の 要 旨	<p>資料1に基づき、青葉区から報告。</p> <p>田中議員 資料1の最下段に「取組の必要性については8割以上の同意を得られたことから、いただいたご意見を踏まえ、今後、運行計画の検討を進めてまいります」とあるが、青56系統の望ましい再編案に関して、引き続き地域の方々とお話をして検討していく、という認識でよいか。</p> <p>森道路局企画課 担当課長 今回8割の同意を得られたことから、青61系統の連節バスの導入を進めていく中で、56系統の再編案は様々な方向で検討していきたい。</p> <p>田中議員 地域の皆さんの声を大切にして進めていただきたい。</p> <p>横山議員 青56というのは非常に長い路線で、長い路線を維持するというのは非常に難しい。バス事業者にしても非常に負担の大きな路線であることは確かだが、公がどこまで交通に対して責任を持つかという問題があるのではないか。特に、この地域はこどもの国駅へのアクセスがなかなか難しいので、今、実証実験などが行われているAIバスやオン</p>

<p>発言の 要旨</p>	<p>デマンドバスといったものの導入をこの地域で検討するべきではないか。玉川学園も含め、こどもの国と玉川学園の間の地域についての、駅までの交通をどう確保するかというのが課題ではないか。</p> <p>森道路局企画課 担当課長 AIや自動運転等は検討されているが、その次元に到達するにはまだしばらく時間がかかると聞いている。地域の皆様から、こどもの国駅のほうを通過してほしいという意見を非常に多く頂いているので、まずはルートを変えるという方向性を含め、バス事業者間の調整が必要になるが、こどもの国駅のロータリーに入れるような形の調整を進めていきたい。</p> <p>横山議員 説明会でも日体大での乗り継ぎに対してのご意見があったと思うが、乗り継ぎに対して不安を覚えている方々に対してどのような説明をしてきたのか。</p> <p>森道路局企画課 担当課長 説明会の中で、バス事業者である東急バスが、乗り継ぎに際して優先的に乗れるような乗車方法を考えます、と回答している。バスを待つ列を、例えば乗り継ぎの方が並ぶ列と日体大の学生が並ぶ列に分けるとか、そういうことを東急バスが考えている。なるべく早く具体化して地域の方に説明していきたい。</p> <p>横山議員 乗り継ぎの場所をこれから整備するにあたり、バリアフリー化はどのように考えているか。</p> <p>森道路局企画課 担当課長 乗り継ぎ施設及び乗降場はバリアフリー対応のものとなっている。地域の方から乗り継ぎの介助を、というご意見も頂いているが、補助については運転手が行うことで対応していきたい。</p>
<p>報告事項2</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に係る青葉区の状況について</p>
<p>発言の 要旨</p>	<p>資料2に基づき、青葉区から報告。</p>
<p>報告事項3</p>	<p>その他（用途地域等の見直し都市計画市素案（案）に関する意見書の受付等の結果について）</p>
<p>発言の 要旨</p>	<p>青葉区から報告。</p>
<p>その他1</p>	<p>青葉警察署管内の情勢について</p>
<p>発言の 要旨</p>	<p>資料3に基づき、青葉警察署から報告。</p>
<p>その他2</p>	<p>青葉区火災・救急状況（令和5年2月1日現在）</p>
<p>発言の 要旨</p>	<p>資料4に基づき、青葉消防署から報告。</p>